

図1. 植生の現況

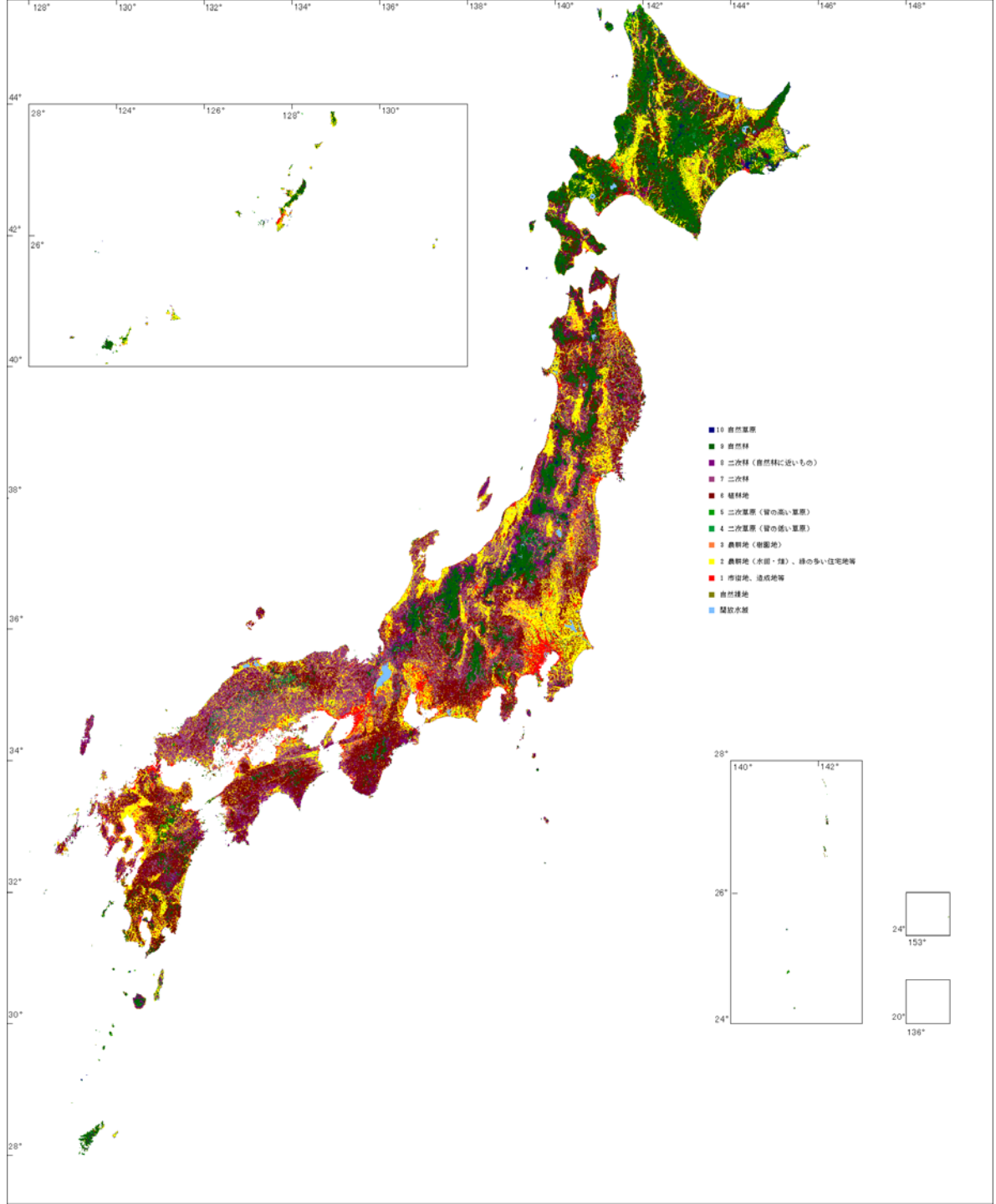


図1. 植生の現況

植生自然度	区分内容	区分基準	メッシュ数	比率 (%)
10	自然草原	高山ハイデ、風衝草原、自然草原等、自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区	3,993	1.1
9	自然林	エゾマツ・トドマツ群落、ブナ群集等、自然植生のうち多層な植物社会を形成する地区	65,824	17.9
8	二次林 (自然林に近いもの)	ブナ・ミズナラ再生林、シイ・カシ萌芽林等代償植生であっても、特に特に自然植生に近い地区	19,598	5.3
7	二次林	クリーミズナラ群落、クヌギ・コナラ群落等、一般には二次林と呼ばれる代償植生地区	68,540	18.6
6	植林地	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植林地	91,414	24.8
5	二次草原 (背の高い草原)	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原	5,568	1.5
4	二次草原 (背の低い草原)	シバ群落等の背丈の低い草原	7,591	2.1
3	農耕地 (樹園地)	果樹園、桑畑、茶畑、苗圃等の樹園地	6,788	1.8
2	農耕地(水田・畑) 緑の多い住宅地	畑地、水田等の耕作地、緑の多い住宅地	77,695	21.1
1	市街地・造成地等	市街地、造成地等の植生のほとんど存在しない地区	15,999	4.3
その他	自然裸地	※メッシュ数、比率は第5回自然環境保全基礎調査(2001年)による	1,420	0.4
	開放水域		4,227	1.1
	不明区分	(3次メッシュはおよそ1km四方)	70	0.0

図2. わが国における絶滅のおそれのある野生生物の種数(レッドリスト掲載種数)

	評価対象種		絶滅	絶滅のおそれのある種	準絶滅危惧
哺乳類		180	4	42	18
鳥類	約	700	13	92	18
爬虫類		98	0	31	17
両生類		65	0	21	14
汽水・淡水魚類	約	400	4	144	26
昆虫類	約	30,000	3	239	200
貝類	約	1,100	22	377	275
珧類・甲殻類等	約	4,200	0	56	40

	評価対象種		絶滅	絶滅のおそれのある種	準絶滅危惧
維管束植物	約	7,000	33	1690	255
蘚苔類	約	1,800	1	229	22
藻類	約	5,500	5	110	40
地衣類	約	1,500	5	60	39
菌類	約	16,500	30	64	17

図3. 第1の危機 林地から都市的利用への土地利用転換面積

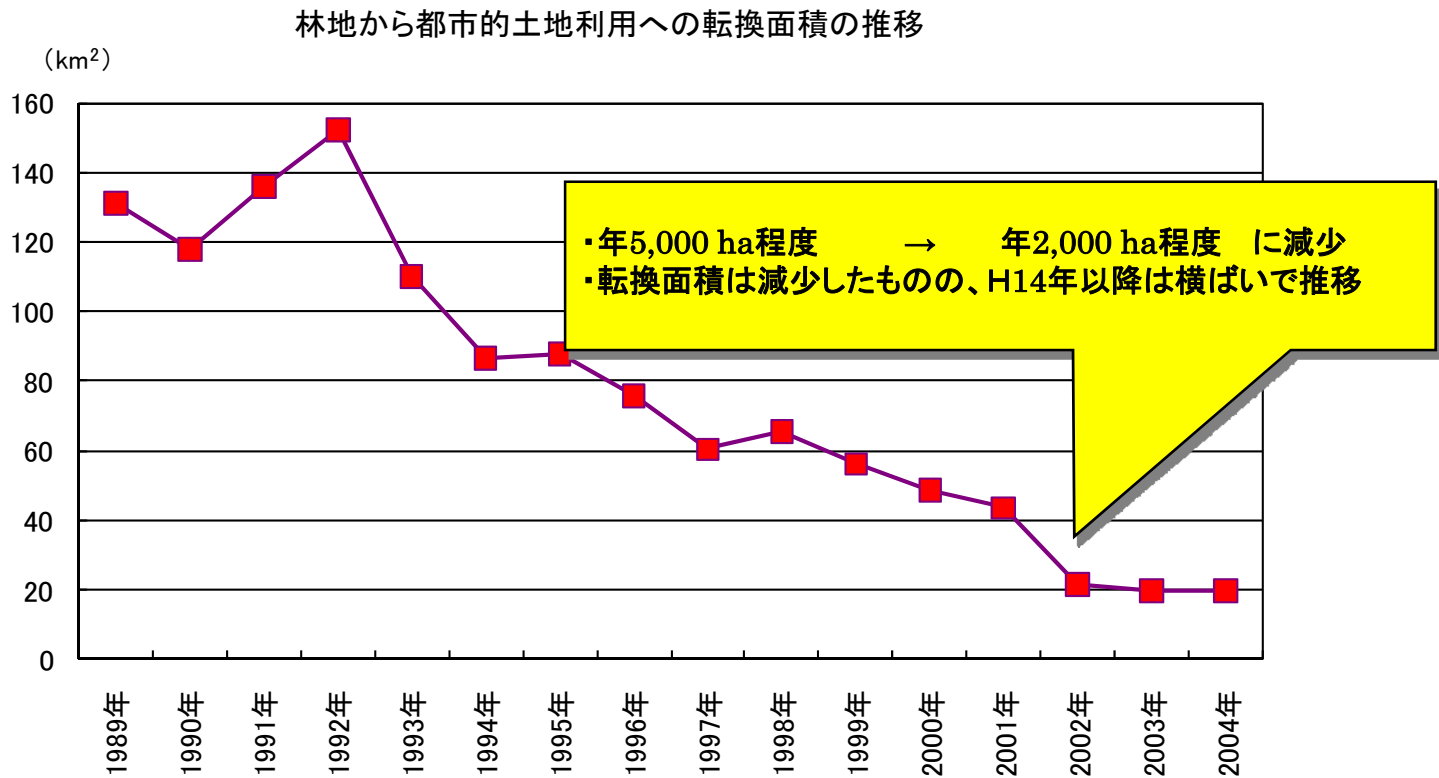


図3. 第1の危機 沿岸域の埋め立て地の増加面積

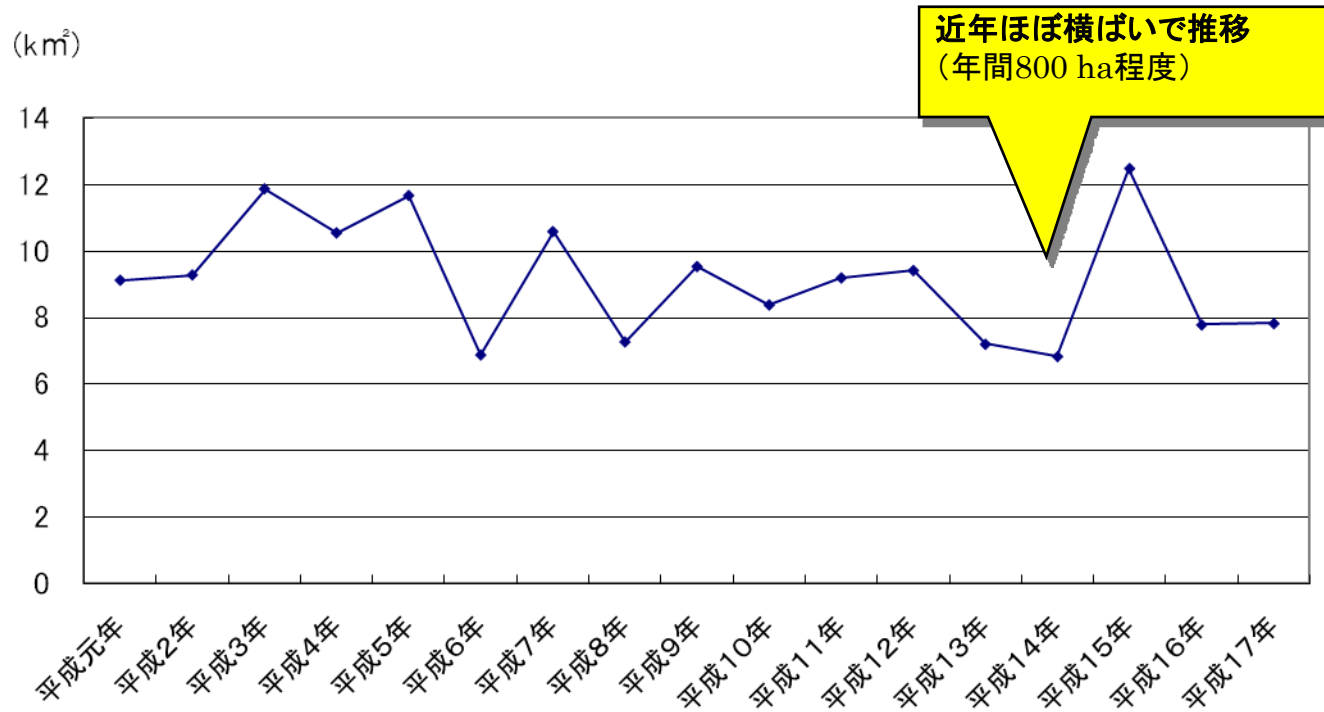


図4. 第2の危機 耕作放棄地面積の増大

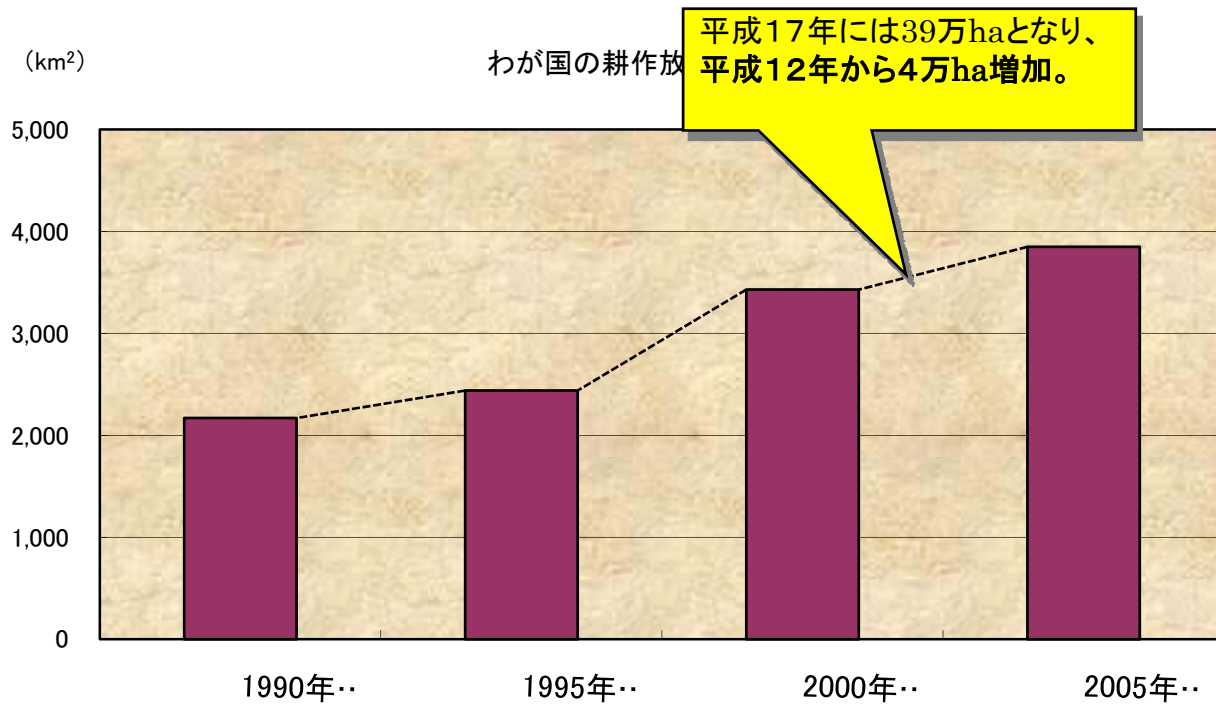
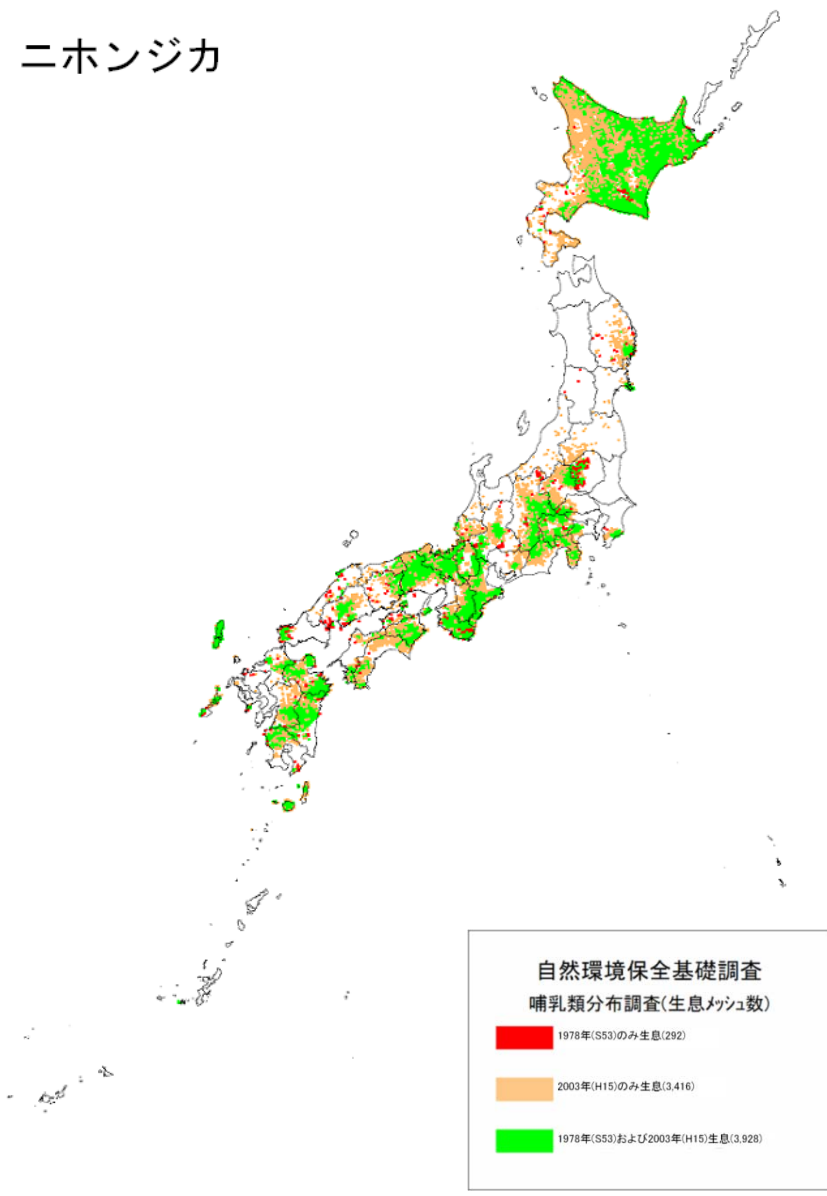


図5. 中・大型哺乳類の分布の変化

全国分布メッシュ比較図

ニホンジカ



全国分布メッシュ比較図

イノシシ (※イノブタを含む)

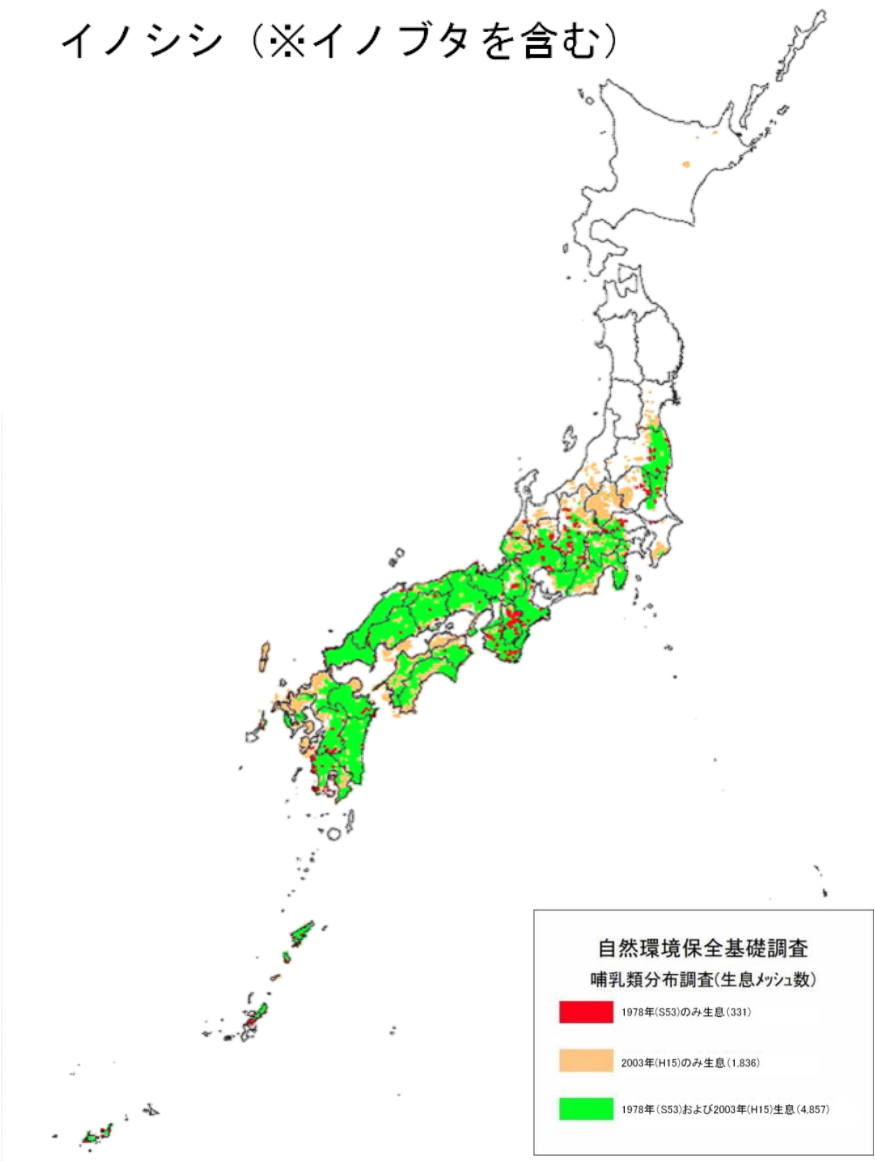
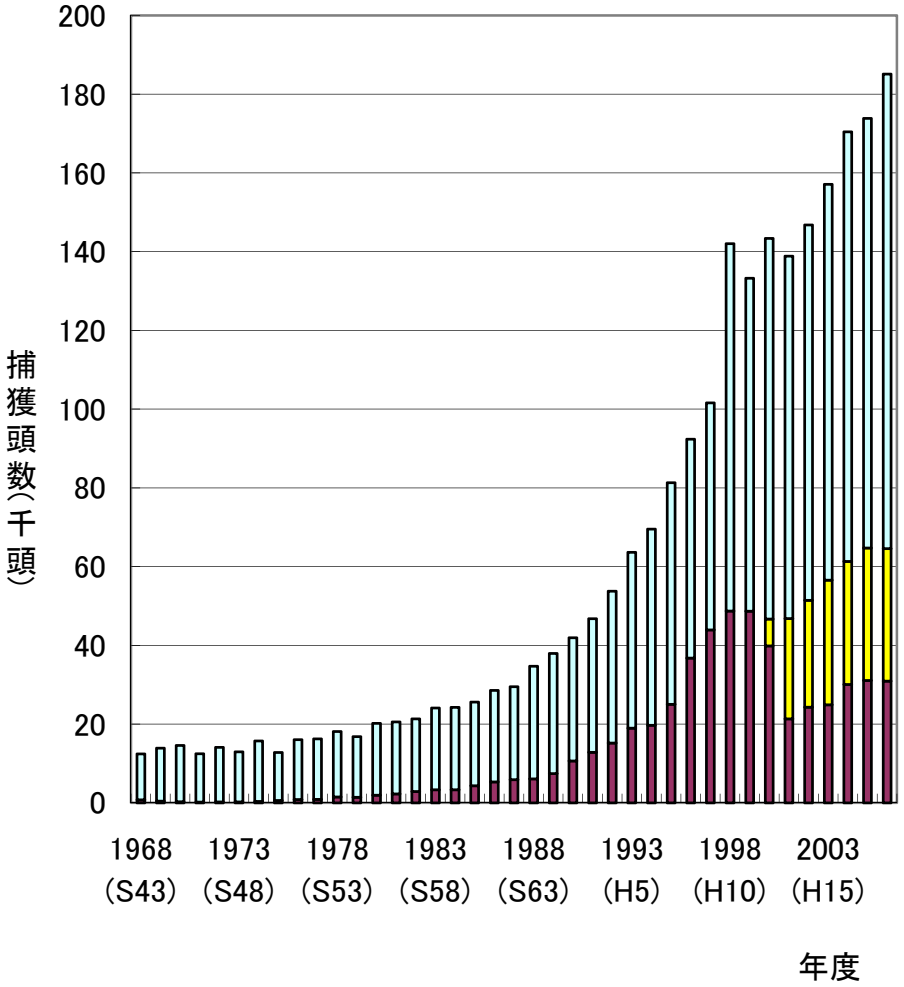


図5. 中・大型哺乳類の捕獲数の推移

シカの捕獲数の推移

- 狩猟
- 特定計画
- 有害鳥獣捕獲



イノシシの捕獲数の推移

- 有害鳥獣捕獲
- 特定計画
- 狩猟

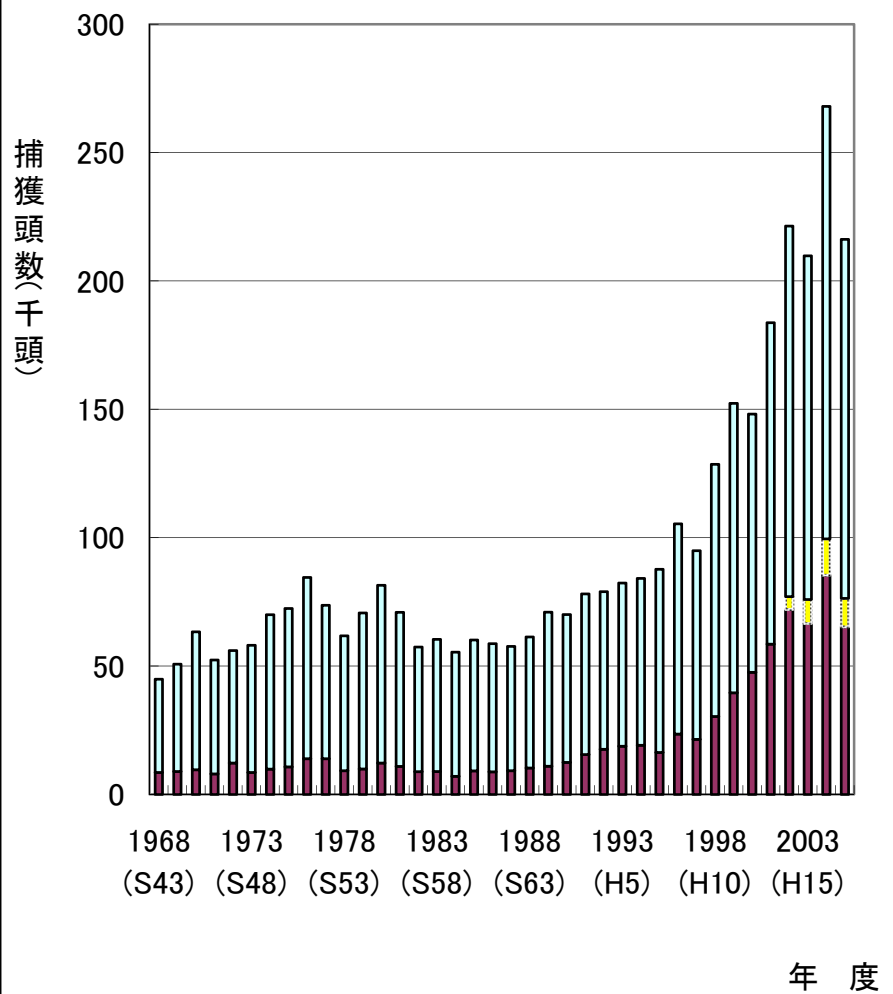
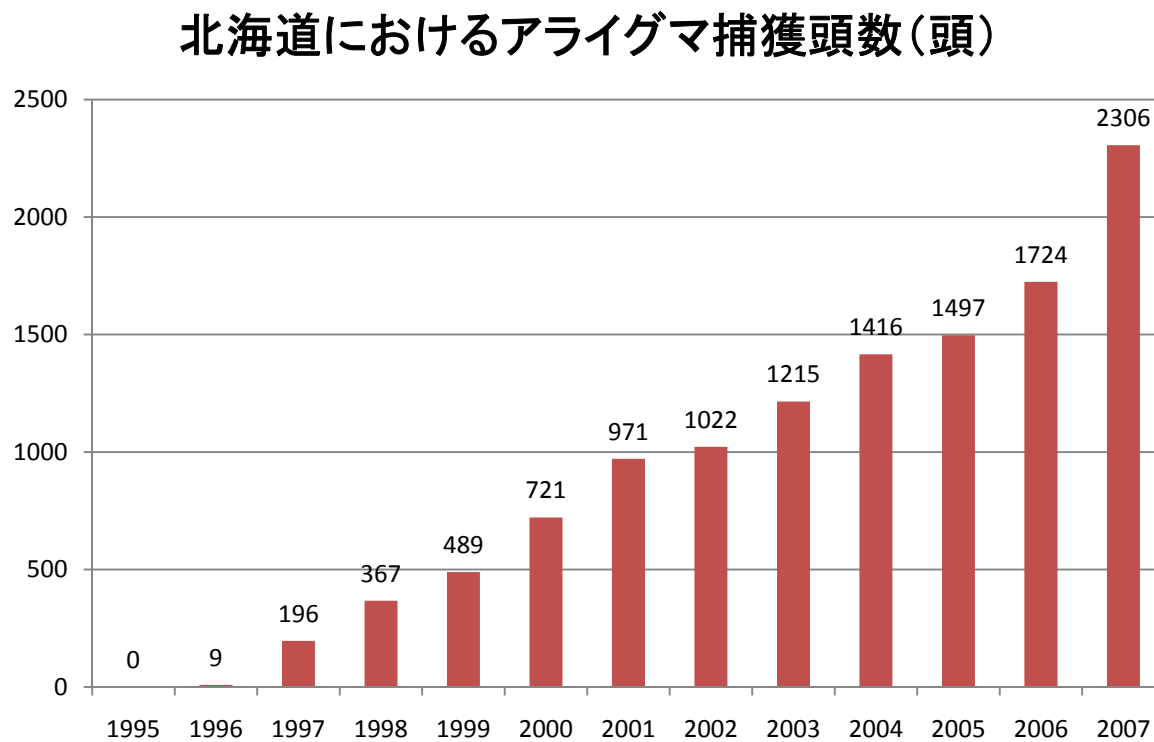


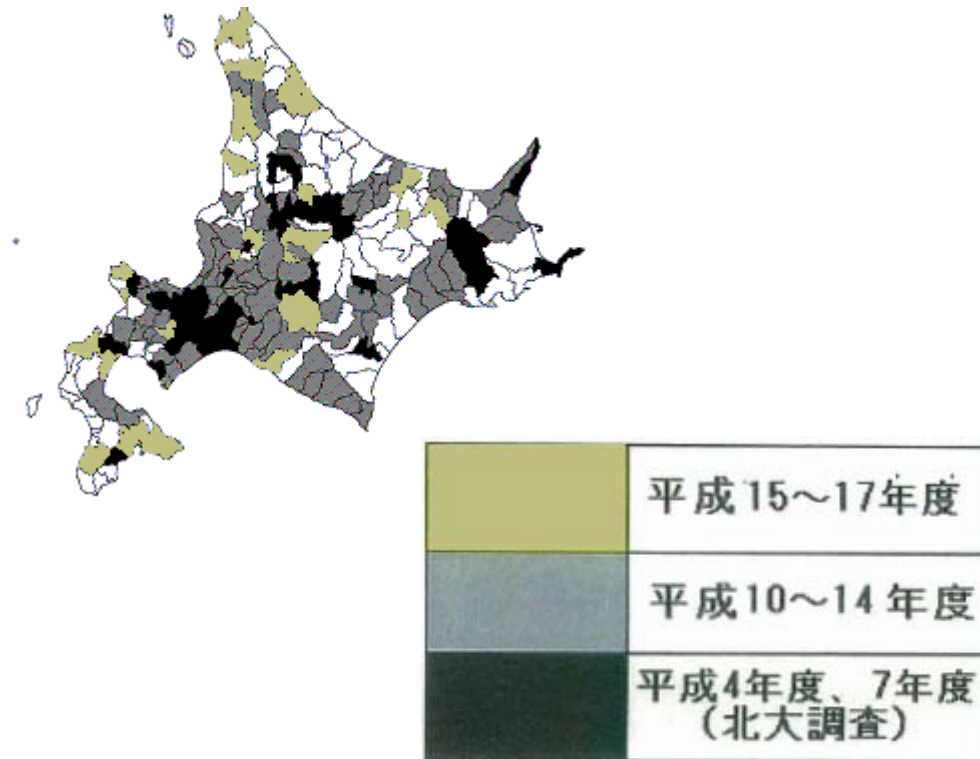
図6. 第3の危機 アライグマの捕獲数



出典:環境省「鳥獣統計」

図6. 第3の危機 北海道における分布拡大の例

生息または目撃情報のある市町村数
119市町村(平成17年10月11日現在)



出典:北海道庁作成資料